

2024年2月21日
(一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟
小野澤秀典

海外セーリング研修報告書(パース、オーストラリア)

研修先: Perth, Australia(Royal Perth Yacht Club, Mini Series 2023)

研修期間: 2024年2月14日~20日

参加選手: B&G 高松海洋クラブ 佐々木杏さん、松下諒也さん
江東区立小中学校セーリング部 和田祐季さん
和歌山ジュニアヨットクラブ 安井多聞さん
葉山町セーリング協会 森田晴翔さん
引率者: 理事 小野澤秀典
理事 菅野輝郎

2024年2月14日から20日、オーストラリアのパースにて海外セーリング研修を実施いたしました。下記報告いたします。

14日の13:30に1時間遅れてパース国際空港に着きました。

出発前に江東区立小中学校セーリング部の和田祐希さんがインフルエンザにかかり、高熱だったため急遽キャンセルになりましたが、それ以外の参加者についてはトラブルもなくパースに入りました。

空港にはアンドリュー(弟)さん、マイケル(兄)さん、ロイ(父)さんの3人が迎えにきていた
だいており、毎回、マカリー家族にお世話になっています。

この日はロイヤルパースヨットクラブ(RPYC)に行き、まずサンドイッチをいただき、ク
ラブハウスの見学をして、夕方には各ホストファミリーが子どもたちを迎えにきて、各ホ
ームに行きました。

15日の2日目は、例年のスケジュールとは違って1日前倒しになっていたのも、フリーマ
ントルへ観光に行くことにしました。

今までは電車で行っていましたが、パースはUberタクシーが普及しており、3台に分譲し
て行きました。

海洋博物館や潜水艦の中を見学し、シーフードレストランに行ってフィッシュ&ポテトを食
べて、40度を超える猛暑でもありフリーマントルのRPYC アネックス(別荘)の中に入って
寛ぎました。

16日の3日目は、チャーターヨットを受け取り、フィッティングを行っているところに東京オリンピックのレーザークラスの金メダリストのマシュー・ウィアンが取材で来ており、記念写真を一緒に撮ることができました。

昼前に菅野コーチの指導でビーチから出艇してセーリング練習を行い、午後2時間程度練習をしましたが猛暑でもあり、日陰で明日からのレースへの取り組み方などのミーティングを行いました。

付き添いの大人たちは街に出て早速買い物などをしていたようです。

17日の4日目は、ミニシリーズレガッタの初日でしたので朝7時30分にヨットクラブに集合し、開会式と艇長会議が簡単に行われ、10時に出艇しました。

午前中は風が弱かったので一旦戻り、11時にランチを取って午後1時に再出艇しました。

午後に入り5~6m/sの順風に恵まれ4レースを実施して帰艇しました。

18日の5日目は、朝8時に集合して出艇の準備をしましたが曇り空でもありシーブリーズが弱く10時になって出艇しました。

しかし、昨日のような南の風がレース海面まで届かず、レーザークラスのみ1レースを実施して、11時30分にはAPAの旗が上がり、レースは終了しました。

この日は風もなかったこともあり、高松の佐々木杏さんが熱中症気味だったので早々に戻らせて涼しい部屋で休んでもらいました。

12時30分から表彰式が行われ、残念ながら日本の参加選手は入賞できませんでしたが、主催者の配慮で記念に1位のペナントをもらって役員との記念撮影を演出してくれました。

JJYUからはお世話になった感謝の言葉を刻んだ記念のガラスの盾をクラブのコモドアにお渡ししました。

19日はスワンバレーのチョコレート工場やワイナリーを見学し、街中で子供達のお土産を購入してもらい、午後3時に我々のモーターに着いてプールで遊びました。

その日の夜は、20日が早朝便6時40分の出発でしたので前日に子供達をモーターで預かって保護者と一緒に過ごして就寝しました。

20日は午前4時の早朝にマイケルさんがバンでモーターへ来ていただきスーツケースを積んで子供達はUberで空港まで行き、無事出国手続きを済ませて機内に入りました。

6時40分にパース空港を飛び立ち、シンガポールのチャンギ空港で2時間ほどのトランジットの後、午後2時にシンガポールで羽田組と関空組と別れ出立しました。

午後9時過ぎにはとそれぞれ羽田空港と関西空港に到着し、7日間の海外研修は無事に終了いたしました。



I L C A 4 クラスのデッドヒート



金メダリストのマシューと記念撮影



OP クラスのクローズドホールドの競り合い



RPYC コモドアと1位ペナントを授与